

市役所の土曜閉庁

毎月第二・第四

条例を制定

平成元年度一般会計総予算額は85億2,995万円に

十二月十五日から会期八日間で開催された平成元年第八回市議会定例会は、市役所の土曜閉庁条例、一般会計補正予算などを審議。市役所の土曜閉庁は一部施設を除き、四月から実施の予定。また、今回の補正の主なものは、職員給与の改定、雪害対策費などで、平成元年度一般会計の総予算額は八十五億二千九百九十五万円となりました。

十二月十五日から会期八日間で開催された平成元年第八回市議会定例会は、市役所の土曜閉庁条例、一般会計補正予算などを審議。市役所の土曜閉庁は一部施設を除き、四月から実施の予定。また、今回の補正の主なものは、職員給与の改定、雪害対策費などで、平成元年度一般会計の総予算額は八十五億二千九百九十五万円となりました。

可決された主な議案

●白根市の休日定める条例の制定
国の指導により、公務の円滑な運営を図りながら、従来の休日に加え毎月第二、第四土曜日を市役所の休日(土曜閉庁方式)とするものです。
すでに国では昨年一月から、県では四月から実施され、県内の市町村でも半数以上が実施されています。このようなことから、本市においても行政サービスが低下しないことを前提とし、

●平成元年度一般会計補正予算(第六号)
歳入歳出とも一億九千五百二十一万円を追加し、総予算額を八十五億二千九百九十五万円としました。
歳入では、市民税を追加可能な範囲で措置し、市民税法人分八千五百万円、個人分四千五百万円をそれぞれ追加しました。そのほか固定資産税や特別交付税などの追加を見込んでいます。
歳出の主なものは次のとおり。
●職員の給与改定などによる人件費全体の追加額六千三百万円
●国家公務員の給与改定に準じ、

●平成元年度一般会計補正予算(第六号)
歳入歳出とも一億九千五百二十一万円を追加し、総予算額を八十五億二千九百九十五万円としました。
歳入では、市民税を追加可能な範囲で措置し、市民税法人分八千五百万円、個人分四千五百万円をそれぞれ追加しました。そのほか固定資産税や特別交付税などの追加を見込んでいます。
歳出の主なものは次のとおり。
●職員の給与改定などによる人件費全体の追加額六千三百万円
●国家公務員の給与改定に準じ、

審議された意見書・請願

〔意見書第八号〕国民健康保険事業に対する助成措置の継続・拡充及び母子世帯医療費無料化制度の早期実現に関する意見書
原案可決

一、国民健康保険財政の健全化を図るため「国民健康保険財政健全化対策補助金制度」を創設すること
二、保険基盤安定制度の拡充と国庫負担の増額をすること
三、県単福祉医療の波及分について、助成制度を継続し、平成二年度から先進県並みの補助金に拡充すること
四、県において母子世帯医療費無料化制度を至急実施すること

〔意見書第九号〕土地改良事業にかかると農家負担の軽減に関する意見書原案可決
一、農業基盤整備、大島頭首工等の事業に関する経費は全額国庫負担とすること
二、県営、団体営土地改良事業にかかると農家負担の軽減に関する意見書原案可決
一、農業基盤整備事業の農家負担と、その利息については、当分の間凍結すること
一、農村地域の混住化に伴う農



提案理由を説明する滝沢市長(12月15日)

議事人事

●常任委員会の委員長、副委員長
社会建設常任委員長一熊倉誠太(五十嵐仁一郎委員長辞職による) 同副委員長一長谷川一栄(副委員長欠員による) 産業企業常任委員長一上杉正(浦野文一委員長辞職による)
●議会運営委員会の構成(クラブ会派再編成による) 委員長一小野忍 副委員長一星弘 委員一滝沢宏、遠藤孝六郎、松沢義夫、河内新平、川村一六、石田豊実
●組合議員等
衛生センター組合議員一五十嵐信雄(遠藤孝六郎議員の辞職による) 消防事務組合議員一上杉貞夫(五十嵐信雄議員の辞職による) 農政対策協議会委員一松沢義夫(五十嵐仁一郎委員の辞職による)

市職員の給与を四月一日にさかのぼり平均三・一七%(七千四百三十九円)引き上げられたことと、諸手当の引き上げ、通勤手当の全額支給限度額の引き上げなどによる追加補正です。職員給与の改定による補正は、老人保健、国民健康保険事業、特別会計とガス事業、水道事業にも同様の措置が取られました。
□雪害対策費の追加額一三千三百五十一万円
おおむね九回の除雪出動を想定した所要額で、前年度と比較し約四百万円の増加です。
□旧白根用水排水路整備負担金の追加額一二十六百万円
都市下水道幹線排水路の整

備費として計上しました。
□公園整備事業費の追加額一三千五百六十万円
カルチャーセンターの体育施設用具、備品、美術品購入費として計上しました。
●昭和三十三年度一般会計決算、老人保健特別会計決算、国民健康保険事業特別会計決算の認定
三議案とも継続審査となりました。

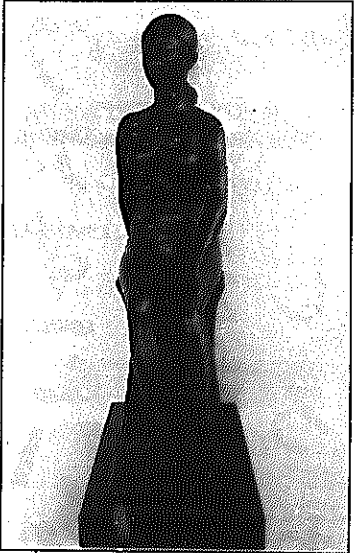
●昭和三十三年度一般会計決算、老人保健特別会計決算、国民健康保険事業特別会計決算の認定
三議案とも継続審査となりました。

同意された人事案件

▼教育委員会委員の任命
田沢靖子さん(庄瀬四・六十六歳) 任期は四年。
▼人権擁護委員の推薦
田中圭子さん(水道町一・五十三歳) 任期は三年。

市政短信

千野茂さんが裸婦像を寄贈



10月24日新飯田出身で東京芸術大学名誉教授の千野茂さん(76歳、東京都)から、ブロンズ像が市に寄贈されました。「麗(れい)」(1988年作・50.5寸×24寸×25寸)と題されたこの裸婦像は、市長室に飾り、たいせつに保管しています。

また、市では市制施行30周年記念

とカルチャーセンター完成を記念して、千野さんの作品を同センターロビーに飾りたいとして、市長が接触を重ねてきました。その結果千野さんから快くお引受けいただくことができ「陽(よう)」(ブロンズ像・1987年作・169寸×66寸×52.5寸)という裸婦像を譲り受けることになりました。この作品は、カルチャーセンターの完成を待って搬入される見込みです。

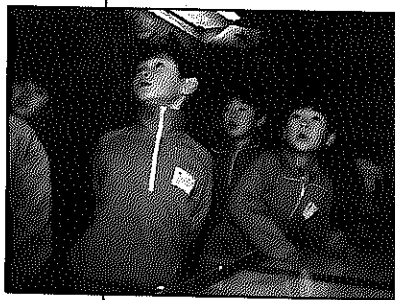
民俗資料館の設備を拡充

改修工事のため、しばらく休館していた民俗資料館(夙資料室併設・教育委員会庁舎内)が、設備を拡充して、オープンしました。今回の改修工事では、展示室を1室増加し展示物を増やし、実物大の大凧も展示。また、見学者が見やすいように配置にも気を遣っています。

民俗資料館を管理している教育委員会社会教育課では「夙関係の資料だけでなく、昔の民具や農具もそろっていますので、子どもたちの学習の場として活用してください。また、遠方からお客さんが見えられたときの観光コースに、ぜひ加えていただきたいものですね」と話しています。

土曜、日曜日の見学はあらかじめ電話で連絡してください。団体で見学される場合には、希望があれば係員が説明します。ぜひ民俗資料館にお出かけください。

□問い合わせ 社会教育課社会教育係 (373-3171)



業用施設の公益的効用の増大による地方公共団体の負担が漸増傾向にあるので、所要の地方財政措置を講ずること
〔請願第八号〕白根市国民健康保険税の引き下げを求める請願採択